

緊急注意喚起情報

米づくり技術情報 No.13

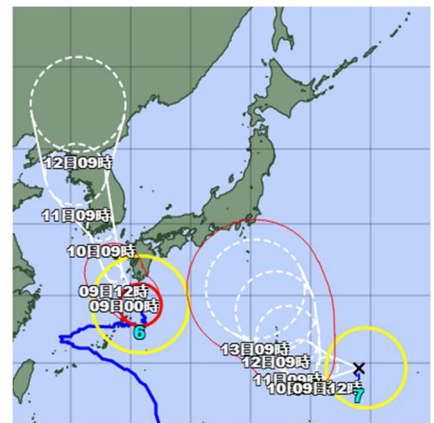
令和5年8月8日

8月9日～11日にかけて、フェーン現象による異常高温と乾燥の恐れ！ 水管理を徹底して稲体の消耗を防ぎましょう！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

山形地方気象台によると、高温が今後も続き、台風第6号の影響で8月9日から11日にかけてフェーン現象による異常高温と乾燥が続く恐れがあります。

現在、「はえぬき」「雪若丸」は胴割粒の発生に影響する時期となっていて、「つや姫」は水を最も必要とする出穂期～乳熟期となっています。



台風第6号の予想経路図
(気象庁 8月8日14時現在)

◎異常高温・乾燥対策

- ・フェーン現象による異常高温と乾燥の影響で、稲体から水分が急激に蒸散し、稲体の消耗が大きくなります。特に、出穂して間もない「つや姫」は、白穂となる危険性が非常に高くなります。
- ・水田に水が入っていない状態でフェーン等の異常高温・乾燥に遭遇すると品質が大きく低下します。速やかにかん水して、稲体を異常高温と乾燥から守りましょう。
- ・ただし、長期間水を張りっぱなしにすると根の機能が低下して、登熟に悪影響を及ぼします。異常高温と乾燥が落ち着いたら、間断かん水や飽水管理に移行しましょう。
- ・今後の降雨の状況によっては、用水事情が悪化する可能性があります。地域全体に用水が行き渡るよう地域でよく話し合い、用水を効率的に利用しましょう。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！